回復期リハビリテーション情報（南2階病棟）

2026/10/1現在

Ⅰ．退棟患者数（令和08年4月～9月）

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数	96名
② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	70名

③	② 状態患者の内訳	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後 若しくは手術後の状態 又は 義肢装着訓練を要する状態	35名	48.57%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後 又は手術後の状態	21名	40.00%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	13名	10.00%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	1名	1.43%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	0名	0.00%

Ⅱ．実績指数（前月までの6ヶ月間）

④ ※1 実績指数（⑥／⑦）	53.50点
⑤ 実績指数の計算対象とした患者数	70名
⑥ ⑤の患者の退棟時※2のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和	2,250 点
⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和	42.05

※1 実績指数 ＝ ⑥ FIM運動項目の得点　退棟時 － 入棟時（対象患者の合計） ／ ⑦ 存棟日数 ÷ 入棟時の状態での算定日数上限（対象患者の合計）

※2 FIMとは機能的自立度評価表

榛名荘病院長